H29白石高校（七ヶ宿校）教育計画体系

教務

《取組方針》

学習意欲を向上させ，基礎学力の向上・定着を図り，生徒各自の進路希望が達成できるようにするため，次の点に努力する。

《実践事項》

ア 生徒の能力や適性を考慮した教育課程の編成・実施
イ シラバスの有効活用と不断の見直し
ウ 国語・数学・英語の習熟度別学習による学力向上
エ 「学び直し」学習の支援
オ 「生徒による授業評価」の各期ごと実施と，授業改善への活用
カ 地域の自然・人的資源を活用した，「総合的な学習の時間」の実践
キ 学校評価・学校公開など，開かれた学校作りの推進
ク 教育方針及び特色周知のため中学校訪問の実施
ケ 中学生及び保護者の学校訪問の積極的受入
コ 言語による自己表現能力を育てる，学習活動の実践

生徒指導

《取組方針》

自立した社会人として必要なスキルを涵養し，心豊かに充実した人生を送れるような力を育てる。

《実践事項》

ア 望ましい人間関係の確立
イ 生徒主体の生徒会活動の推進
ウ 地域社会・学校生活におけるルールとマナーの徹底
エ スクールカウンセラーを含めた全職員による相談体制の確立
オ 学校行事への主体的参加の促進
カ 登下校指導や地域からの情報などにより，生徒の現状把握に努め，事件・事故の発生を未然に防止する
キ 各種教育講座のローテーション化を図り，生徒の意識高揚に努めるとともに，生活向上のための知識・技術の習得を図る
ク 教育活動のあらゆる機会を利用し，生徒のコミュニケーションスキルの向上を図る
ケ アンケート調査や面談などによる「いじめ」の未然防止

進路指導

《取組方針》

自己理解や職業理解を通して進路実現に向けて自ら考え，努力する生徒を育成する。

《実践事項》

ア 各学年ごとに教材等を準備し，LHR等での計画的な学習を推進する
イ 進路講演会・職場見学等の進路行事の充実
ウ 地域や関係機関の協力を仰ぎ，積極的精力的に就職先を開拓する
エ 全校生徒によるインターンシップの充実と就労意識の醸成
オ 生徒の希望・適性に応じた職場実習を積極的に支援する
カ 就職模擬試験の充実と学習意欲の喚起
キ 生徒全員との進路面談の実施
ク 社会人としてのマナーの育成
ケ 模擬面接・作文指導の充実

校訓

志操凛風　進取創造　自彊不息

教育目標

21世紀の社会を担う人材育成

心身ともに健全で、地域社会及び国家に貢献するとともに、グローバルな視点に立って地球社会をリードできる有為な人材を育成する。

教育方針

「学び」と「問い」を、ひらき・ささえ・ふかめる

少人数学校の特性を生かし，きめ細かな学習・生活・進路指導を徹底するとともに，学校行事や地域社会との交流を通して豊かな人間性を養い，地域社会に貢献できる人材を育成する。

平成29年度重点目標

基礎学力向上と豊かな人間性の育成

○**個に応じた学習指導**による基礎学力の向上

○魅力ある**学校づくり**による人間性・**社会性**の涵養

○地域・保護者との連携による**開かれた学校づくり**

○**体系的な**進路指導による進路意識の育成

具体的な取り組み

① 個に応じた学習指導による基礎学力の向上
○習熟度別授業や支援員配置によるきめ細やかな学習指導
○「言語表現活動」と「学び直し」の充実とアクティブ・ラーニング型授業の研究
○全員の進級・卒業を目指す

② 魅力ある学校づくりによる人間性・社会性の涵養
○学校行事等の特別活動の充実と生徒の主体的参加
○社会人として求められる規範意識の育成
○SC・SSWを含む相談体制の充実と生徒理解の推進
○総合的な学習の時間の内容精選と充実
○ボランティア活動や部活動の充実・推進

③ 地域・保護者との連携による開かれた学校づくり
○地域との連携・交流による開かれた学校づくり
○学校公開・授業公開の推進と学校評価の積極的活用
○学校だより等による情報発信と広報活動の充実

④ 体系的な進路指導による進路意識の育成
○学校設定科目を柱としたキャリア教育の体系化
○インターンシップ等の進路行事の充実と面談の重視
○進路希望達成率100%を目指す

1年

《学年目標》

高校生活へのスムーズな適応を図り，自主的・自律的態度を育てる。学習活動・特別活動への積極的参加を促し，自己の能力と個性の伸長を図る。

《実践事項》

ア 基本的生活習慣の定着を図り，自主的・自律的な行動を促進する。（時間厳守，規則遵守，規則正しい生活習慣，挨拶の励行）
イ 生徒の実態を把握し，集団生活・活動への適応を図り，より良い人間関係の形成を図る。
ウ 授業への積極的参加と家庭学習の習慣化を奨励し，基礎学力の向上を図る。
エ 部活動・諸行事等の活動を通し，お互いの切磋琢磨により，生徒一人ひとりの能力や個性を伸ばす。

2年

《学年目標》

中堅学年としての自覚を持たせ，学校生活の充実と文武両道を図りながら，将来の進路設計に努める姿勢を育てる。

《実践事項》

ア 基本的生活習慣の定着と学校生活の安定
イ 学校行事や生徒会行事への主体的参加を促し，中堅学年としての自覚を持たせる。行事成功の達成感により，自己肯定感を醸成さ
ウ 「分かる授業」を実践し，学ぶ喜びを感得させる。
エ 職場実習やアルバイトを奨励し，自己の将来像について考えさせるとともに，正しい職業観と豊かな人間性を陶冶する。

3年

《学年目標》

上級学年としての自覚とリーダーシップを育て，学校生活の向上に努めさせるとともに，自己の進路実現に向けて努力する姿勢を涵養する。

《実践事項》

ア 基本的な生活習慣の確立。
イ 部活動や学校行事などへ自律的・主体的に参加させ，学校の活性化を推進する役割と責任を自覚させる。
ウ 社会人として必要なマナーや心構えを身につけさせる。
エ 正しい人生観と職業観を涵養し，自立の為の基礎を固める。
オ 保護者との連携を密にしながら，個々の生徒の希望や適性に応じた，進路目標の達成を図る。

地域との連携及び開かれた学校作り事業

Ⅰ 地域との連携
①小学校・保育所との交流
②中学校部活や教員との交流
③地域の人材活用
④地域の職場でのインターンシップ
⑤生徒会の地域へのボランティア活動
⑥個人の地域ボランティア活動
⑦学校行事への地域の方の参加
⑧地元の小中高との互いの授業見学・研修会

Ⅱ 開かれた学校
①学校ホームページ
②学校公開・授業公開
③中学生及び保護者などへの学校説明の随時実施
④中学校訪問
⑤PTA総会時授業参観
⑥学校便りの町内全戸への配布
⑦学校評価の実施と結果の公開